

長生・山武自閉症協会自然散策会

自然の中で青いものをさがそう

木嶋 恵子（睦沢町）

日 時：2016年3月26日（土）10：30～12：30

場 所：茂原公園（茂原市）

参加者：10名（大人8名・子ども2名） 指導員2名

担当指導員：佐藤一枝 木嶋恵子

寒のもどりで、「ソメイヨシノ」の蕾が堅いままの茂原公園で、長生山武自閉症協会の自然散策会が行われました。今回のテーマは、4月2日の「世界自閉症啓発デー・Warm Blue Day 2016」に連動させたイベントとして、自然の中で「青いものを探そう」にしました。自己紹介の後、池の赤鳥居の傍まで移動し、笑顔で記念撮影。いよいよ探索開始です。

入口から広場へと続く花壇に沿って進むと、すぐに「あったー。」の声が上がりました。見つけたものに「色見本カード」をあて、近い色を調べました。「あーっ、ちよつとちがうかな…。」「おっ、これだ！」などの声が、実に楽しげでした。それぞれをスケッチし、調べた色を書き込み、用意したカードの6個の欄は、すぐいっぱいになり2枚目に取り組んだ人もいました。見つけた青いものは、オオイヌノフグリ（アオフジ・青藤）・ハナニラ・キウリグサ（ビヤクグン・白群）・タチイヌノフグリ・アジュガ（スミレイロ・董色）・タチツボスミレ（リンドウイロ・竜胆色）・雲間の空（ウスグンジョウ・淡群青）・キランソウ（キキョウイロ・桔梗色）・地衣類のウメノキゴケ・若竹（アサギネズ・浅葱鼠）等でした。展望台からは街並みがよく見え、遠景は青くかすんでいました。周りの木々は大きく、この森の深さを感じました。

広場まで下り、「まとめ」をしました。参加者は、身の回りの自然の中には、思いのほか「青いもの」が多くあること、それが少しづつ異なり「同じでない」ことを実感されたようです。「青いものを探す」「カードから近い色を探す」という取り組みが、主体性を求められることだったためか、取り組みが進むほど興味を深めたようです。そして「おもしろかった！」という皆さんの笑顔は、充実した時間だったことを表していたと思いました。また様々な色に、それぞれ素敵な名前がつけられていることを知り、指導員としても大変勉強になりました。

※世界自閉症啓発デー：国連総会（H19.12.18）においてカタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われている。「癒し」「希望」という意味のある青をシンボルカラーとしている。

